

令和5年度 地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業成果報告書

※ 本報告は、交付金計画1件ごとに作成してください。

都道府県等名	鹿児島県	市町村名	
--------	------	------	--

1. 交付対象事業の名称

就職氷河期世代就労促進・定着支援事業

2. 交付対象事業の重要業績評価指標 (KPI) 実績

	指標名	令和5年度目標値	令和5年度実績値
KPI④	就業者数(正規雇用, 非正規雇用, 自営・起業・内職等の人数)	28	34
	相談初期から進路決定まで相談者の状況に合わせた支援の結果, 就業者増に結び付いた。		
KPI⑤	窓口相談(家族等による相談含む)件数	1,250	1,016
	広告や紹介等で新規相談者は前年度より増加したが, 心理的や生活面でバランスを崩した方への継続的支援, 遠方や移動が困難な方への支援が不十分となったことから, 相談件数が伸び悩んだ。		
KPI⑥	求職活動支援件数	71	122
	相談者の退職理由の一つとして業務と本人の適性のミスマッチがあったことから, 職業適性検査や職場見学, 就労体験等を実施したことにより件数が伸びた。また, 企業への応募については, 応募書類作成面接対策, 不安等へのカウンセリング等を実施した。		

3. 本事業による就業者数及び社会参加者数

就業者数	34	うち 就業者数	34	うち正規	20	社会参加者数 (就学、就労準備 訓練等)	2
		うち、その他就業(自営、起業、内職等)		うち非正規	14		

就業者数 (年齢階層別)	～40歳		41歳～45歳		46歳～50歳		51歳～	
	就職(正規)	9	就職(正規)	2	就職(正規)	7	就職(正規)	2
	就職(非正規)	9	就職(非正規)	2	就職(非正規)	3	就職(非正規)	
	その他就業 (自営、起業、内職等)		その他就業 (自営、起業、内職等)		その他就業 (自営、起業、内職等)		その他就業 (自営、起業、内職等)	

4. 事業の実施状況及びその成果等及び第2ステージ終了後(令和7年度以降)の展望

<p>随時 就職氷河期世代専門窓口の設置 (窓口相談(家族等による相談含む)件数: 延べ1,016人(来所555人・電話361人・訪問100人), 就職活動支援件数: 延べ122人, 就業者数: 延べ34人, 社会参加者数(職業訓練)2人)</p> <p>相談者の掘り起こしのために, HPの開設やチラシ, 新聞広告等の紙媒体も組み合わせながら広報を行った結果, 広く事業を周知することができ, 令和4年度と比較して新規相談者が増加した(R4年度新規相談者72人, R5年度81人)。相談者は職業経験が少ない方や長期引きこもりの方であることから, 求職者活動支援として職場見学や就労体験を行ったことで, 企業応募, 採用までを円滑に進めることができた。また, 応募先企業は, 相談者の適性や職歴, 心的・環境的状况を考慮しながら選定した。</p> <p>相談者に必要な支援を一貫して行った結果, 就業等に至った方が36人となった。なお, 5月16日時点では, 就業者のうち31人が就業継続中, 職業訓練を受講した1人は訓練を終了したところである。退職された方については, 引き続き就労支援に取り組んでおり, 就業者においても窓口相談(電話相談を含む)を実施し, 就労定着に向けたフォローアップを行っている。</p> <p>相談窓口を2箇所設置しており, 県内の相談対象者へ周知を行った結果, 新規相談者は前年度より増加したが, 心理的や生活面でバランスを崩した方への継続的支援や, 移動が困難な方への支援に十分に取り組むことができなかった。その点を踏まえ, 令和6年度は電子メールやビデオ通話等を利用したオンラインや相談を取り入れ, 適時に相談ができる仕組みを作る予定である。</p> <p>令和7年度以降, 本事業により得られる知見・ノウハウ等を活用し就労支援事業に繋げていくことを検討している。</p>
